

高速戦隊ターボレンジャー（1989～1990）

メディア TV

ジャンル ヒーロー アクション ロボット

製作国 日本

色彩 Color

1989/02/25 ～ 1990/02/23

TV放映

土／金

18:00～18:25／17:30～17:55

テレビ朝日

【解説】

今を去ること2万年前。人間と妖精は力をあわせて暴魔百族を封印することに封印することに成功した。しかし、環境破壊の進む現代。ついに暴魔たちは蘇った！妖精を見ることのできる5人の若者たちは、最後の妖精シーロンに導かれ、高速戦隊ターボレンジャーとして戦いに挑む！！

スーパー戦隊10周年という節目を迎え（その為本作品の1話は10大戦隊の特番となっている）、主人公を高校生というかつてない若さに設定して開始された野心作。妖精、聖獣といったファンタジー的設定が自動車というモチーフとは整合していなかったという欠点はあるが、全体としては1クールごとに見事に設定された盛り上がり、コンビネーションを大事にした歯切れのよいアクションなど見応えのあるものに仕上がっている。

途中から加わったヤミマルは、2万年間封印を逃れて流れていた“流れ暴魔”であるという魅力ある設定、さらに5人のクラスメイトだった月影小夜子が18歳の誕生日に覚醒して誕生した流れ暴魔キリカをパートナーとして主人公のライバルとして挑んでくる、というドラマ的盛り up を作品にもたらしキャラクターとして、ファンの間の人気の高いキャラクターとなっている。また、脚本もこの設定を得てノってきたのか、後半は“流れ暴魔”を軸として話が展開していた。キリカは人と暴魔との間に生まれた存在であり、“流れ暴魔”は人と暴魔との架け橋となることが出来る存在である、ということが明らかにされてからの怒涛の終盤の展開は、戦隊史上屈指の名編として忘れがたい。“運命の赤い糸”というのを、マジでヴィジュアル化した（2人の指の間に光学合成で赤い糸が！）のにはちょっと頭がクラクラするが、それが最終回の伏線となっていた（暴魔城に取り残されたヤミマルをキリカが赤い糸で引っ張り出す！）のは凄い。

【クレジット】

監督

長石多可男

東條昭平

新井清

箕輪雅夫

アクション監督

竹田道弘

(ジャパンアクションクラブ)

プロデューサー

宇都宮恭三

(テレビ朝日)

鈴木武幸

(東映)

原作

八手三郎

脚本

曾田博久

藤井邦夫

井上敏樹

渡辺麻実

キャラクター製作

レインボー造形企画

キャラクターデザイン	篠原保	
撮影	いのくまさお	
特撮監督	矢島信男	
美術	山下宏	
造型	前沢範	
編集	成島一城	
音楽	吉田明彦	
アクション	新堀和男	
	赤田昌人	
	蜂須賀祐一	
	蜂須賀昭二	
	石垣広文	(ジャパンアクションクラブ)
特技・操演	鈴木昶	((株)特撮研究所)
	尾上克郎	((株)特撮研究所)
特技・撮影	高橋政千	((株)特撮研究所)
特技・美術	佛田洋	((株)特撮研究所)
ナレーター	田中信夫	
出演	佐藤健太	炎力／レッドターボ
	我那覇文章	山形大地／ブラックターボ
	朝倉圭矢	浜洋平／ブルーターボ
	片桐順一郎	日野俊介／イエローターボ
	木之原賀子	森川はるな／ピンクターボ
	岡本富士太	太宰博士
	大村真有美	妖精シーロン
	高見恭子	山口先生
	石橋雅史	暴魔博士レーダー
	田中良典	流星光／ヤミマル (流れ暴魔)
	森下雅子	月影小夜子／キリカ (流れ暴魔)
	岸加奈子	姫暴魔ジャーミン
声の出演	銀河万丈	聖獣ラキアの声
	渡部猛	暴魔大帝ラゴーンの声
	梅津秀行	かっとなび暴魔ズルテンの声
	平井誠一	暗闇暴魔ジンバの声